

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

7月15日(木曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

主要国の株価動向が相場を動かす

14日(水)の主な推移



期間：14日(水)午前6時～15日(木)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 早朝に発表された米インテルの決算が市場予想を上回る結果となり、時間外のダウ平均先物が値を上げた。また日経平均株価も寄り付きから170円以上の上昇となり、その後も上値を伸ばしたことが好感されると、ユーロ/円は113.26円、豪ドル/円も78.84円まで、それぞれ上昇した。
- ② 米5月小売売上高などが事前予想を下回る結果となり、その後時間外のダウ平均先物が下落したことにより、NYダウ平均株価の下落が警戒され、ユーロ/円は112.02円、ユーロ/ドルは1.2681ドル、豪ドル/円は77.49円まで、それぞれ下落した。米ダウ平均株価は取引開始直後は軟調に推移していたが、その後反発に転じたことにより、ユーロや豪ドルも値を上げた。
- ③ 米ダウ平均株価が前日比でプラスに浮上し、その後も上値を伸ばしたことにより、市場ではリスクを取ることに積極的となる動きへとつながり、ユーロ/ドルは14日高値となる1.2778ドルを記録。そのほかユーロ/円は113.19円、豪ドル/円は78.58円まで、それぞれ反発した。だがその後公表された米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録にて米景気の先行きに懸念が示されると、米株が下げ足を速めると共にリスクに対して消極的となる動きへとつながり、ユーロや豪ドルや弱含む場面が見られた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2570-1.2830ドル
 ユーロ/円 : 111.60-113.30円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.10-78.50円

本日はユーロ圏にて欧州中銀(ECB)月例報告があるものの、市場では中国や米国の経済指標や主要国の株価のほうが、結果が数字として出るため、取引材料となりやすいと見られる。そのほかJPモルガンやグーグルの米企業決算も予定されており、こちらも市場の関心を集めそうである。

それ以外ではスペインの15年債入札が予定されている。昨日はポルトガルの国債入札が無難な結果となり、ユーロ相場には特に混乱もなかったものの、念の為押さえておきたい。(川畑)

本日東京時間では中国の経済指標の発表が予定されている。仮に中国経済の底堅さが見られれば豪ドル/円は連れ高となることが予想される一方、中国経済の減速懸念が出た場合、売られる展開もありえるので注意したい。

そのほか、昨日主要国の株価動向が豪ドル/円相場を動かしており、また本日は米企業決算も予定されていることから、こちらも市場の関心を集めそうである。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/15(木)	11:00	○	(中) 第2四半期実質GDP	+11.9%	+10.5%
	11:00	○	(中) 6月消費者物価指数	+3.1%	+3.3%
	17:00		(ユーロ圏) ECB 月例報告	—	—
	17:30	○	(スペイン) 15年債入札(30億ユーロ)	—	—
	21:30	○	(米) 7月ニューヨーク連銀製造業景気指数	19.57	18.00
	21:30	○	(米) 7/11までの新規失業保険申請件数	45.4万件	44.5万件
	22:15	○	(米) 6月鉱工業生産	+1.3%	±0.0%
	23:00	○	(米) 7月フィラデルフィア連銀景況指数	8.0	10.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。